令和3年4月

**日動協：実験動物技術研修会「日常の管理」開催のお知らせ**

公益社団法人日本実験動物協会

（公社）日本実験動物協会では各種実験動物技術研修会を開催し、実験動物に関する知識と技術の普及に努めております。

令和3年度の標記研修会「日常の管理」は実験動物の飼育管理、試験・研究、実験動物及び実験動物用飼料・器材などの販売に携わる方々、**特に初心者の方々を対象**として企画しており、動物の取り扱いなどの実習も行います。日ごろ担当している業務のみならず、その周辺の業務にも目を向けていただくことにより、受講生各自が日常の飼育管理業務に対してより理解が深まるものと思います。

貴施設の該当する方々が多数参加されますようお取り計らいのほどお願いします。

研修会受講者には、修了証を授与いたします。

記

日　　　　時：令和3年6月26日（土）10：00～17：00（1日のみ）

場　　　　所：公益財団法人 実験動物中央研究所

〒210-0821　川崎市川崎区殿町3丁目25番12

　　　　　　　京急川崎駅から京急大師線「小島新田」駅下車徒歩15分

　　　　　　　（受講者へ会場の地図をご案内します）

参加人員：先着20名（定員に満たない場合、研修会を中止することがあります）

参 　加 　費：会　員　：22,000円（消費税込み）

賛助会員：27,500円（消費税込み）

非会員　：33,000円（消費税込み）

参加申込方法：研修会参加希望者は、申込書（必ず１名１枚ずつ記入すること）をFAXでご送付ください。　**FAX：03-5215-2232**

また申込書を添付していただければ電子メールによる申込みも受付けます。E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

申込受付期間：令和3年5月28日（金）まで

講義内容 ： 1. 実験動物と動物実験の概論

2. 動物福祉に関する基礎知識

3. 飼育管理の基礎知識

4. 洗浄・消毒・滅菌の理論と実際

5. 飼育管理の実際（実習）

1) 動物の取り扱い方 2）ケージ交換作業と動物の状態観察

3) 体重測定法　 4) その他

受講の通知等：申込締切り後、受講票、参加費の振込み用紙および研修参加案内を送付します。参加費は通知受取後速やかに納入してください。

申込書送付先：〒101-0051東京都千代田区神田神保町3-2-5　九段ロイヤルビル502号室

 公益社団法人　日本実験動物協会

（TEL 03-5215-2231、FAX 03-5215-2232）

　E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

備考：申込書は日本実験動物協会のホームページからダウンロードできます。
なお、申し込み後、やむを得ずキャンセルする場合は、必ず事前に連絡願います。

いったん納入された参加費は返還できませんので予めご承知おきください。

また、COVID-19の感染状況によっては研修会を中止することがあります（その場合、納入された参加費は返金します）。

**別紙**

**「日常の管理」研修会の受講者からこれまで寄せられたご意見、感想など**

1. とても中身の濃い充実した研修会だった。座学は広範な知識をカバーしていただき、既知の部分も含め復習を兼ねながら効率良く学ぶことができた。
2. 日常業務をこなしているだけではなかなか学べない福祉や消毒、麻酔などの細かい部分を学習することができたのはたいへんよい機会だった。今後の業務にぜひ生かしたい。
3. 通常業務では扱うことのない動物種に触れることができたこともよい機会であった。
4. 「滅菌・消毒」の講義内容は、勤務先の施設でも応用できるものであった。
5. 動物福祉に関する基礎知識はたいへん理解しやすかった。この講義を受講して実験動物を扱っていく上での考え方、心構えが変わったと思う。
6. 基本的な事項からきちんと復習することができてよかった。
7. 実習では保定等について親切な指導を受けることができ有意義であった。
8. 実習では講師の先生方にいろいろ質問することができ、たいへん有意義な時間を過ごすことができた。実習のグループ内でも他社の方々と情報交換することができたので、グループでの実習形式はたいへん望ましいものだった。
9. 丁寧に編集された資料をいただけたので、今後のためにもとても勉強になる。
10. これまでは日常の飼育管理において、特に自分の行う作業の意味を深く考えることはなかったが、今回の研修を受講してその意味と意義を認識しなければならないと感じた。
11. 日常業務では触れることのない動物を扱うことができてよい経験になった。
12. 実験動物に関わる機器企業に勤務しており、基礎的な勉強のため参加した。職務上動物に触れる機会がなかったので実習はたいへん勉強になった。
13. 動物室のクリーンアップ方式では、薬剤の選択方法等の意見を聞くことができ有意義だった。
14. 今回の研修会で初めて動物を取り扱いました。保定は難しかったですが、大変役立ちました。
15. 3Rの事や実験の目的や研究発表の情報を明確にする事などいろいろ勉強になりました。
16. 社内でよく見かける行為は、実はあまり推奨されていないことだった、ということに気づいたので、社内で情報をシェアしようと思う。

|  |
| --- |
| **令和3年度実験動物技術研修会「日常の管理」申込書** |
| ﾌﾘ ｶﾞﾅ氏　　　名 |  | 年齢　　　歳 | 男 女 |
| 勤務先 | 名　称 |  |
| 所在地 |  〒 |
| 電　話 | 　　　 　　　 内線 番 　 FAX |
|  | E-mailｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 書類送付先 | 〒 　　　 TEL |
| 実務経験 | 　　　　　年　　ヵ月 　主な担当業務： |
| 備 考 欄 |  |
| 受付月日 | ※ | 受付番号 | ※ | 参加費 | ※ |

備考

① ※印欄は記入しないでください。

② 会員、賛助会員とは、あなたの所属する会社が当協会の会員、賛助会員であることをいい、日本実験動物学会および日本実験動物技術者協会の個人会員とは異なります。
ご注意ください。

③ 年齢、性別、実務経験は実習の際の班分けの参考に使用しますのでご協力ください。

④ 書類送付先が勤務先の場合は、同上とご記入ください。

⑤ マウス、ラットあるいはハムスタ－にアレルギーがある場合には、その動物種とアレルギーの程度を備考欄へ記載してください。

**当協会は本申込みにより得た個人情報は「日常の管理」研修会に関連した目的以外の使用**

**はいたしません。**

**（公社）日本実験動物協会ＦＡＸ：03-5215-2232**